

第3回公共事業評価部会

砂防事業に係る残事業 B/C について

平成21年7月22日
土木部防災砂防課

砂防事業に係る残事業 B/C

全体事業 B/C と残事業 B/C

工区		現在価値(C) (百万円)	現在価値(B) (百万円)	保全対象		B/C
南野尻沢2	全体事業 (H12～23)	644	877	人命(人)	59	1.36
				人家(戸)	23	
				県道(km)	0.41	
				耕地(ha)	4.92	
				橋梁(基)	0	
	残事業 (H22～23)	53	94	人命(人)	0	1.77
				人家(戸)	5	
				道路(km)	0.02	
				耕地(ha)	1.64	
				橋梁(基)	0	
大沢川	全体事業 (H12～23)	1624	1975	人命(人)	34	1.22
				人家(戸)	67	
				道路(km)	5.81	
				耕地(ha)	36	
				橋梁(基)	3	
	残事業 (H22～23)	396	587	人命(人)	4	1.48
				人家(戸)	9	
				道路(km)	0.8	
				耕地(ha)	4.9	
				橋梁(基)	0	

残事業費用・便益

- 残事業費用について、両工区とも H22～H23 分を計上
- 残事業便益について、両工区とも H24 から 50 年分を計上

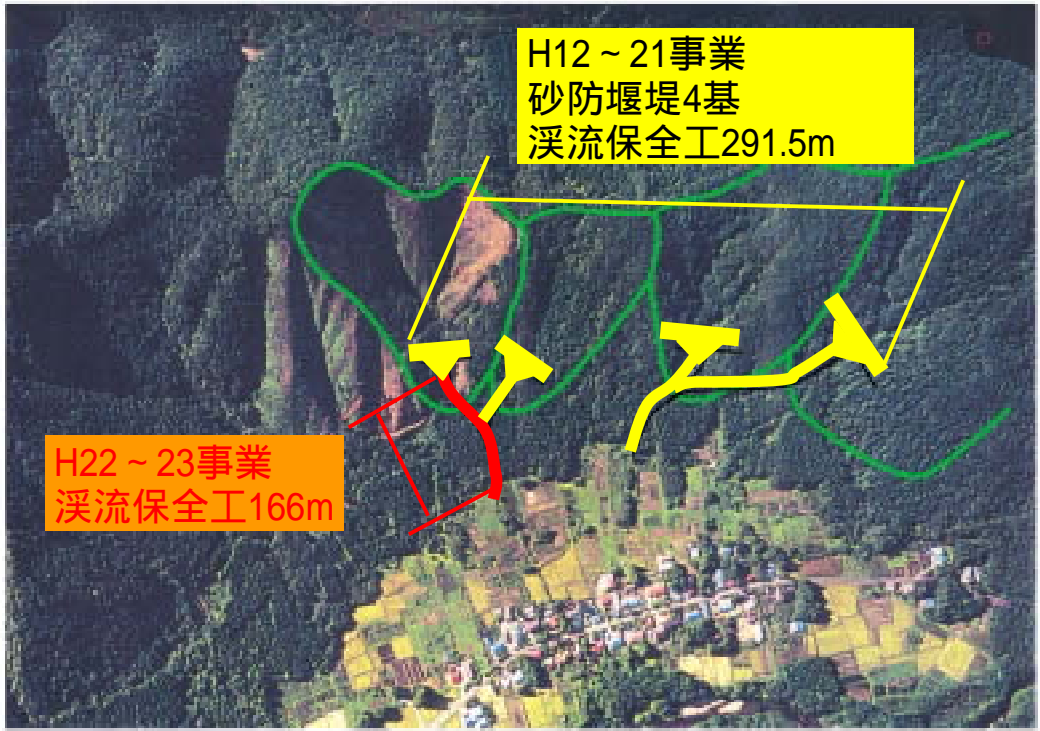
南野尻沢2の残便益

- 残事業の便益は、河川氾濫から保全される人家、道路、耕地を計上。
- 過年度事業で砂防ダム全4基を整備済みであり、土石流の直撃から人命は守られているため、残事業便益で人命は計上していない。
全体事業の便益は、土石流・河川氾濫から保全される人命、人家、道路、耕地を計上。

大沢川の残便益

- 残事業の便益は、土石流・河川氾濫から保全される人命、人家、道路、耕地を計上。

南野尻沢2の残事業概要



大沢川の残事業概要



参考資料

砂防工事とは

砂防えん堤

対策前



対策後



流路工

対策前



対策後



砂防事業の目的

土石流を補足、土砂流を安定流下することが目的

砂防ダムは土石流の直撃から人家等を保全する。

流路工は河床の浸食、土砂堆積からの氾濫から人家等を保全する。

砂防事業の効果

土石流の直撃により守られる、保全対象数

土砂堆積による氾濫から守られる保全対象数。

保全対象とは、人家、人命、道路、耕地、橋梁などがある。

保全対象に影響する有害土砂を100%対策した時点で「保全対象が守られた」ことになる。